

(概要版)

中学校英語科において 情報を豊かに発信できる指導の工夫

－英語を「文」単位で習得し、それを基に文章を構成する活動を通して－

長期研修員 五十嵐 豊

<研究の概要>

本研究は、中学校の英語学習において、習得した英文を使って、情報を量的にも質的にも豊かな内容で、聞き手や読み手に伝えることを目指すものである。具体的には、生徒はまず英語を「文」単位で習得する。次に習得した「文」を活用して文章を作る。最後に小グループでの生徒同士による交流を通して文章をより良くする。以上の過程を通して生徒が情報を豊かに発信できるようになるための指導を工夫した。

<研究構想図>

中学校英語科において情報を豊かに発信できる指導の工夫



目指す姿

『英語で書いたり話したりして情報を発信できる』

1年の最後には→接続詞を使った文を交えて**40語程度**で文章をまとめられる

2年の最後には→考えや気持ちを付け加え**50語程度**で文章をまとめられる

3年の最後には→文章を整理して内容をつなげ**70語程度**で文章をまとめられる

具体的な
手だて

手だて3

質的に豊かな「文章」を書く段階

文章構造チェックリスト「**コウゾウくん**」を使って自己チェックした英文をグループで回覧し、他の生徒の文章を参考にし、それを基に自分の文章を再構成してより良いものにする

手だて2

量的に豊かな「文章」を書く段階

文章作成シート「**カケルくん**」を使って、センテンスカードの「文」を組み合わせることで多くの情報量をもつ文章を構成します

手だて1

発信に必要な「文」を習得する段階

センテンスカード「**FCマナブくん**」やサイトトランスレーションシート「**マナブくん**」を使って帯学習で繰り返し音読し英語表現を「文」単位で習得します



現状と課題

*伝えたいことを英語でうまく発信できない

課題の原因となっているものは何?

*英語を習得する際「文」として十分に習得できていない。
*学習した「文」を文章作成にうまく活用できない。
*テーマや形式にふさわしい文章に構成できない。

<「情報を豊かに発信するための活動例(3年間)」の提案>

発信力育成のための学習としてこの活動を年間計画に位置付けます

情報を豊かに発信するための活動例

		1 学期	2 学期	3 学期
1 年	目指す姿	1年の最後には→and butなどの接続詞を使った文を交えて40語程度で文章をまとめられる。		
	題材	STEP1:「私はこんな人です」(自己紹介文を書く) I am ~ / I like ~ / I don't like ~ /	STEP2:「My Favorite」(自分の好きな人物紹介文を書く) He (She) is ~ / He (She) plays ~ / He (She) doesn't play ~ / He (She) can ~	STEP3:「一年生の思い出」(心に残った出来事を書く) I visited ~ / I had ~ / I went ~
	量的な豊かさ	30 語程度で文章をまとめられる	30 語程度で文章をまとめられる	40 語程度で文章をまとめられる
2 年	質的な豊かさ	□接続詞 ~ and... / ~ but... □副詞 usually/ sometimes □動詞 like/ love/ speak/ play/ have/ read/ watch/ live in/ listen to	□接続詞 ~ and... / ~ but... □代名詞 him/ her/ it □副詞 usually/ sometimes/ often/ also □動詞 like (s)/ love (s)/ speak (s)/ play (s)/ have (has)/ read (s)/ watch (es)/ use (s)/ listen (s) to	□接続詞 ~ and... / ~ but... □代名詞 him/ her/ it □副詞 there/ here □動詞 enjoy (ed)/ visit (ed)/ study (studied)/ stay (ed)/ watch (ed)/ visit (ed)/ go (went)/ have (had)/ get (got)/ see (saw)
	目指す姿	2年の最後には一事実や様子について書いた後、気持ちや考えを付け加え50語程度で文章をまとめられる。		
	題材	STEP4:「フットボール or ムービー・トーク」 (お気に入りの本や映画を紹介する文章を書く) This is my favorite ~ / I read ~ / I watched ~ / I was ~ / They were ~ I am going to ~ / I will ~	STEP5:「仕事」 (職場体験を踏まえ将来就きたい仕事について書く) I will ~ / I must ~ / I have to ~ / I need to ~ / I would like to I want to ~ / I enjoy ~ ing... / I like ~ ing... I am good at ~ ing/ When ~... / If ~... I think that ~ / I hope that ~	STEP6:「街ガイド FOR 遊BOY&食べたGIRL」 (自分の街のグルメと遊びの情報誌を作る) -er than ~ / the -est ~ / as ~ as... / more ~ than... the most ~ / like better than ~ / PP is (was) PP by ~ / There is ~ / There are ~ / It's famous for its ~
	量的な豊かさ	40 語程度で文章をまとめられる	40 語程度で文章をまとめられる	50 語程度で文章をまとめられる
	質的な豊かさ	□代名詞 him/ her/ it □不定詞 many things to learn/ I want to read it again. □動詞 learn (ed)/ enjoy (ed)/ study (studied)/ watch (ed) go (went)/ have (had)/ see (saw)/ take (took)/ is (am)/ was (were)	□接続詞 I think that ~ / I hope that ~ / ~ because... □不定詞 My dream is to be ~ / I want to ~ things to learn/ I must learn a lot to be a chef/ want/ like/ love/ make/ play/ help/ work/ study	□接続詞 I think that ~ / When ~... □不定詞 If ~... / ~ because... □動詞 I want there to see ~ something to ~ like/ know/ go/ enjoy/ eat/ buy/ open/ close/ say
3 年	目指す姿	3年の最後には一文章を整理して内容をつなげ70語程度で文章をまとめられる。		
	題材	STEP7:「あこがれのあの人に」 (ファンレターを書く) I have been ~ / I have never ~ / I am impressed with ~ / I hope(that) ~ / ~ because ~ / ~ if ~... Would you do me a favor? / Could you ~?	STEP8:「DVD・映画館。映画を見るならあなたはどっち?」 (トピックに応じて、主張する文章を書く) We can ~ / We can't ~ / too ~ / We (You) should ~ / -er than ~ / the -est ~ / as ~ as... / more ~ than... / the most ~ / like better than ~ / That's a great (good) idea.	STEP9:「20歳の自分へ」 (未来の自分へ手紙を書く) I am going to ~ / I will ~ / I must ~ / I have to ~ / I don't have to ~ / I want to be ~ / I enjoy ~ ing... / make me happy/ When ~... / If ~...
	量的な豊かさ	70 語程度で文章をまとめられる		
	質的な豊かさ			

3年間・9つの活動例を提案します

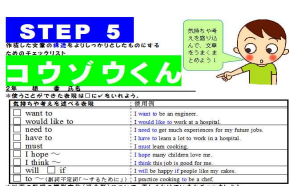
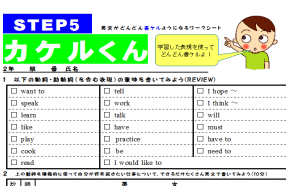
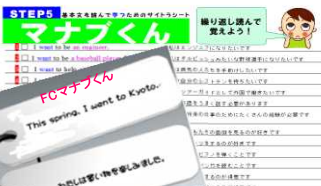
1回ごとの活動について3種類のワークシートと学習指導案がセットになっています

ワークシート

発信に必要な「文」を
習得する段階

量的に豊かな「文章」を
書く段階

質的に豊かな「文章」を
書く段階



1年間を通して毎時間
7~8分の帯学習で使用

センテンス・カード「FCマナブくん」
やサイトトランスレーション・シート
「マナブくん」を使って帯学習で繰
返し音読し英語表現を「文」
単位で習得します。

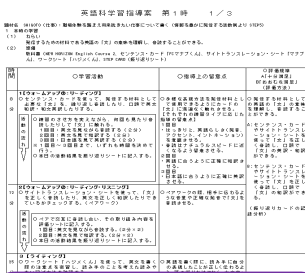
上記の各学期1回の活動(3時間計画)で使用

文章作成シート「カケルくん」を
使って、センテンス・カードの「文」
を組み合わせながら、多くの情報
量をもつ文章を構成します。

文章構造チェックリスト「コウゾウく
ん」を使って、自己チェックした英
文をグループで回覧し、参考にし
たい英文を見つけます。その情報
を基に自分の文章を再構成して
より良いものにします。

学習指導案

各活動はそれぞれ3時間
で構成されています



「情報を豊かに発信するための
活動例」は1つの題材を3時間
で構成します。指導例として3時
間分の「学習指導案」をワー
クシートと合わせて提案します。

<実践例(中学校2年生2学期)では...>

目指す姿:
課題について自分の気持ちや
考えを1~2文加え50語程度で
文章をまとめられる

英語を「文」単位で習
得し、それを基に文章
を作ってみよう!

題材

STEP5「仕事」(職業体験を踏まえ将来就きたい仕事について書く)

本題材で活用できる既習表現

I will ~ / I must ~ / I have to ~ / I need to ~ / I would like to ~
I want to ~ / I enjoy ~ ing... / I like to ~
be good at ~ ing/ When ~... / If ~...
I think that ~ / I hope that ~

本題材で目指す生徒像

40語程度で文章をまとめられる

本題材で気持ちや考えを述べる時に積極的に使いたい表現

□接続詞 I think that ~ / I hope that ~ / ~ because...

□不定詞 My dream is to be ~

I want to ~ / things to learn/ I must learn a lot to be a chef

□動詞 want/ like/ love/ make/ play/ help/ work/ study

発信に必要な
「文」を
習得する
段階



<実際の活動(帯学習)>

○授業の帯学習及び家庭学習で、センテ
ンス・カード「FCマナブくん」を使って、
音読や口頭での英文和訳や和文英訳を
行った。

○授業の帯学習で、サイトトランスレー
ション・シート「マナブくん」を使って、
音読や口頭での英文和訳や和文英訳を
行った。

<実際の活動(授業実践1、2時間目)>

○帯学習で学んだ「文」をセンテンス・カ
ードを見て確認したり、パラパラにしたセン
テンス・カードを自由に組み合わせ文章
を具体的にイメージしたりした。
○文章作成シート「カケルくん」を使って、
活用できる動詞や助動詞の意味を確認しな
がらテーマに沿った文章を構成した。

量的に豊かな
「文章」を書く
段階



質的に豊かな
「文章」を書く
段階



<実際の活動(授業実践3時間目)>

○気持ちや考えを伝える文に視点を当て、文
章をグループ内で回覧し他の生徒の文章で
参考となる部分を見つけた。
○他の生徒の文章を参考に、自分の文章にさ
らに1~2文付け加え、より良い文章にな
るように再構成した。

発展的段階

①まとめたものを
スピーチとして発信

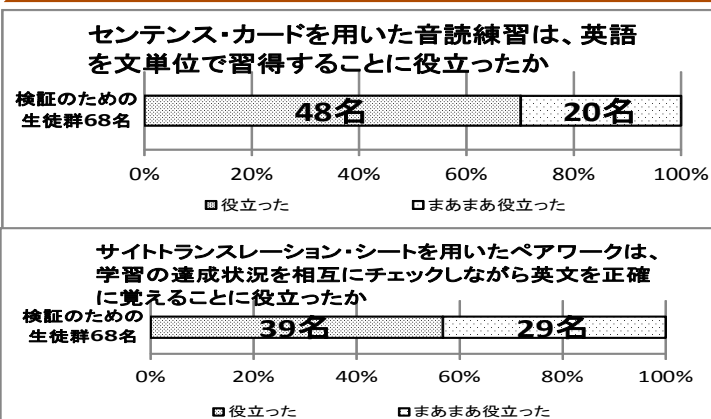
更に本活動
(3時間)の後、
①②のよう
なことでま
す!

②海外に手紙やEメールで
情報を発信して国際交流



<実践授業の結果と考察>

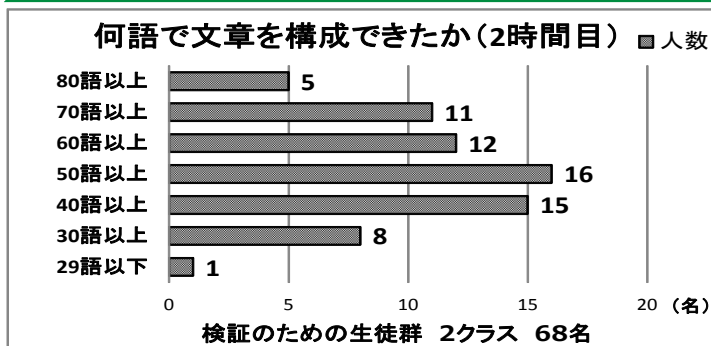
1. 発信に必要な「文」を習得する指導について



生徒はセンテンス・カードやサイトトランスレーション・シートを使って発信に必要な英語を「文」単位で習得したことで、書きたい文がイメージしやすくなり、文章を書くことが容易になったと実感している。シートやカードを使った音読練習が「文」単位での習得に有効であることが確認できた。



2. 量的に豊かな文章を書く指導について



ワークシートの内容を見ると、ほぼ100%の生徒がセンテンス・カードやサイトトランスレーション・シートで学んだ文を4文以上用いて文章を構成できた。授業実践で扱った題材は、40語程度の文章を構成することを目標としているが、59名(86%)の生徒が40語以上で文章を構成できており、この結果から十分な情報量をもつ文章を構成できたことが分かる。



3. 質的に豊かな文章を書く指導について

- ・I would like to talk about my dream.
 - ・I want to be a teacher.
 - ・There are many things to learn about it. (削除した文)※
 - ・I think this job is good for me. (追加した文)
 - ・My mother is a teacher.
 - ・She told me a lot about her job. ※内容的に重複する文
 - ・I hope many children love me. (追加した文)
 - ・I need to get much experience for my future job.
 - ・To be a teacher I have a lot of things to learn.※
 - ・I should study P.E. and Japanese a lot. (追加した文)
 - ・I hope my dream will come true. (10文 78語)
- 内容的なつながり
- 内容的なつながり
- 斜体字の部分は内容に合わせて変更した部分

左の文章は生徒が再構成した文章である。グループ活動を通して参考にした文を、自分の文章の内容に合わせて主語や目的語(資料中の斜体字の部分)を適切に変更し付け加えている。また、加えるだけでなく、意味的に重複する表現が1文削除されている。ほぼ100%の生徒が、文章の再構成にあたって、文脈を考えながら全体を整理し、文章の質的な豊かさを高めることができた。



<研究の成果と課題>

<成果>

- 中学校学習指導要領外国語の基本方針にある「発信力」育成を目指し、中学校3年間を見通した9つの活動例を作成した。なお、それぞれの活動に含まれる言語材料は、学習段階を考慮しながらすべての教科書から選択し、課題設定も生徒の興味関心を引き出すものにした。
- 授業実践において、生徒は事前の「文」の習得活動も含めて3時間の活動を好意的にとらえ、発信力の向上には同様の取組を今後も継続したいという感想を述べており、活動例の有効性が確かめられた。

<課題>

- この活動を各学年で1年間を通して実施し、学期に1回の「情報を豊かに発信するための活動」を発信力育成のための学習の中心として年間計画に位置付け、活動内容を充実させたい。
- 家庭学習として音読練習を行う時も、音声データを配付することで、正しい発音やイントネーションで発信できるようにさせたい。

問い合わせ先 群馬県総合教育センター
担当者：高校教育研究係

0270-26-9214 (直通)